

令和7年度第1回中野区特別職報酬等審議会

1. 日 時 令和7年10月28日（火） 午後7時00分～8時30分

2. 場 所 中野区役所6階 601・602会議室

3. 出席者(8名)

(1) 委員(五十音順：敬称略)

稻尾 公貴 谷 進二 塚田 英貴 笛木 進
福原 紀彦 宮田 百枝 保田 莉里 吉川 信將

(2) 事務局

濱口総務部長、永見総務課長、事務局職員

4. 議 題

(1) 会長の互選、会長職務代理の指名

(2) 諒問

(3) 審議会の運営について

(4) 審議資料の説明について

(5) 議員報酬・特別職給料及び各職の期末手当の適否について（審議）

(6) 今後のスケジュールについて

(1) 会長の互選、会長職務代理の指名

会長の互選、会長職務代理の指名を行った。

(2) 諒問

濱口総務部長から中野区特別職報酬等審議会に「中野区議会議員の議員報酬及び期末手当の額並びに区長、副区長、教育長及び常勤の監査委員の給料及び期末手当の額について」について諮問を行った。

(3) 審議会の運営について

審議会の運営について、総務課長から説明を行った。

(4) 審議資料の説明について

本日の配付資料について、総務課長から説明を行った。

(5) 議員報酬・特別職給料及び各職の期末手当の適否について（審議）

会長

ただいま資料の説明をいただきました。今後、審議会でご議論いただくための基礎資料ということでございますので、何か確認したいことがあればお申し出ください。

委員

1つ質問なのですが、この審議の結果が報酬の額等に影響するのでしょうか。

総務課長

そうです。まず、10番の資料が、特別区人事委員会勧告の概要でございまして、毎年民間企業と区役所の公民較差という給料の比較を、特別区人事委員会という組織で行っております。今年に関しては公民格差が3.8%ということでございましたので、参考にしつつ、特別職や議員についてはどうするかということをご審議いただくことになります。

昨年の答申におきましても、人事委員会勧告を基にしまして、上級職の職層とおおむね同等の引き上げがよろしいのではないかというご議論をいただきまして、答申をいただきました。この審議会の結論として答申をいただいたものを尊重しまして、区として給料及び報酬の改定を議会に提案して、議決をいただきたいと、そういう流れでございます。

会長

年末に答申を出して、その後議会で議決される。ですので、ここでの案が、そのまま条例案としてつくられて、議会に諮られる。そこで議決されて実行されると、そのまま特別職や議員の報酬等に反映される。そういう扱いになるということでございます。他に何かご質問があればどうぞ。

委員

議論の争点は、額なのでしょうか。

会長

改定率を何%にするかということを、勧告や他区の状況を参考にして決めるということです。額は改定率に基づいて算出し、答申に書きます。それと、期末手当についても何か月分引き上げるかを決めます。

委員

人事委員会勧告の一般の行政職ってありますよね。その率に応じて、その特別職もそれにならうわけですか。

会長

いえ、そこはあくまで参考です。

議員は別ですけれども、区長等はその上司というその扱いなので参考にしているということです。

でも、最近は、勧告では若年層を優遇するという形ですので、全体の平均ではなく管理職層のところの率を参考にすることが多いですね。それは今までですから、皆さん、今年は今年でどういうふうに考えるかということはあります。

あと、特別職の場合は、この給与と期末手当と別に退職手当があります。議員の場合は退職手当が出ません。費用弁償も、今はないのでしたかね。

総務係長

去年から費用弁償の日額は廃止をし、実費のみとなっております。

また、報酬とは別ですが政務活動費が別途支給されます。

会長

活動費として別途支給はあると。その政務活動費が少ないから、自腹を切っているという意見はよく出ますけれどもね。

その他、何かご意見はありますか、

委員

過去ですが、議員さんから色々聞いたところでは、兼職もできるはずなのですけれども、実際中野区の議員は専門で、それだけでやっている方が多いという話も伺いました。報酬はやはりこのぐらい出さなければいけないのではという議論をしてまいりました。

会長

議員の報酬があまり低いと、議員を務めてくれる人はなかなか出てこないということもあるということでね。

委員

議員の方って、実働はどのくらいなのでしょうか。

会長

そのようなことを役職ごとに、今後確認していきます。

次の第2回審議会で、新しく役職に就いた方などに焦点を当てて、実際に活動状況を聞きたい方を呼んで、お話を聞くということをしています。

資料に関するご意見は以上とさせていただきまして、議題として、議員の報酬、特別職の給与及び各職の期末手当の適否、どういうものが適当であるかの審議にまず入ることにしたいと思います。ご意見がある方はご発言をお願いいたします。

委員

令和6年度の一般職への勧告が例年に比べて月額2.89%の引き上げと、とても高い率だと思うのですけれども、ただ、議員報酬・特別職給料の引上率は令和5年度とあまり変わらないのは、どういった経緯なのでしょうか。

会長

それは答申文を見ていただくと分かります。答申文の中では、人事委員会勧告は2.89%の引上げになっているけれども、中野区の場合はどのように決めればいいのかということを検討しています。答申文の中で、公民格差をとるか、一般職の中でも6級の最高号給の改定率をとるか、4級から6級の平均改定率をとるか、審議の過程が書かれていて、結果として特別職は部長級の最高号給の改定率である0.8%を、議員は4級から6級の平均改定率である0.9%をとったという、そういう形になっております。

そういうところを読んでもらえば、それぞれの職について、一番ふさわしいであろうという数値を算出して決めているということが分かるかと思います。

昨年度の改定率は、他の区も大体そんな感じでしたか。

総務課長

他の区も大体上級職の改定率に合わせています。

2.89%というのは、全体の平均をとると2.89%なのですけれども、若い職員は10%とか、そういう上がり方をしていて、役職が上がるにつれて引上げ率が下がっているという構図になっているので、もともと給与、報酬が高い特別職等については、上級職の率を当てはめたと、そういう形になっています。

委員

他区も同じような引き上げ率ということは、中野は、23区の中で中位の位置であまり変わらずというところですかね。

総務課長

23区との比較の資料を幾つか用意しています。例えば、05の資料「23区議員報酬月額一覧」につきましては、議員報酬の月額ということで順位が記載されておりますが、06の資料「23区特別職等の年収一覧」が23区の比較で一番分かりやすいと思います。特別職も議員も全て載った一覧で、金額の左側に順位が書かれておりまして、職にもよりますけれども、やはり23区の中で大体真ん中前後ぐらいの位置づけとなっています。

会長

議員は月額で見ると順位が低いのですが、年収で見ると、そこまで低くないと言えます。

中野区の議員さんはIT化を進めているだとか、色々な取組が評価できるので、少しずつ議員報酬というのも上向いているということですね。

常勤監査委員というのは、これを設置した時に、これからはチェック機能を果たす役割に期待を込めて高めの給料にしたものですから、その意味では、今でも23区の中では高めな金額になっております。

他にご意見があればお願いします。

委員

去年、一昨年で印象的なのは、議員さんは自主的な活動をしているということです。そういう自主的な活動というのは、他の区にも見られないということで、それを評価した部分はたしかあったと思いますね。

そういう意味で、特に今年は正副議長が変わったので、色々な活動の状況を教えていただければ嬉しいです。

それと、中野駅新北口駅前エリアの再整備計画の関係もありましたので、財政の状況についてもお聞きしたいです。

会長

先ほどの資料説明の際に中野区の財政状況の概略があり、数値としては健全な向きにあるということでしたが、中野区としてはこの大型開発に伴う区債の発行があるということに対する、区の財政に対する心配が少し指摘されたのだけれども、これは特に区の問題というよりは、引き受けてもらうところの問題だという話だね。

総務課長

もともと予定していた計画は見直しという形になりましたので、この間の動きとしては、中野サンプラザの土地建物、これはもともとまちづくり中野21という会社が所有をしていたのですけれども、今年の9月に中野区に移転をしたということで、今は区の持ち物になっておりまして、これから旧区役所と中野サンプラザ一帯、どのような形で進めていくかというところを、計画を練り直している段階でございます。

会長

そのことが財政を何か悪化させているということではないのですよね。

総務課長

これからどうするかというところになっております。

会長

それと、区の人口はどうなっているのでしたか。

総務課長

人口は毎年増えています。

会長

しかし、歳入は少し減っているようですね。

総務課長

減っている大きな要因としては、令和5年度は新区役所を建てるに当たって、区債をかなり発行していて、それによる歳入が大きかったものが、令和6年度はそれが減ったということです。そういう要因で歳入がかなり減っていますが、人口増に伴い、税収は基本的には増えています。

会長

今年引き上げるためには財政がきちっとしていないと、上げる前提がなくなりますので、中野区の財政状況についても確認をしていきたいと思います。

では、その他にご意見はございませんでしょうか。

例年ですと、次回の第2回に各職の代表者をお呼びして、意見交換を行っておりましたが、今年度についてもどなたかお呼びしたいという要望はございますでしょうか。

委員

個人的には、代わったということであれば、議長と副議長のお話は聞きたいのですが、先ほどもご質問ありましたように、監査委員だとか、あるいは教育長ですかの仕事の内容とか、新しい委員の方が聞きたいということであれば、そちらを優先してもいいのかなと思いました。

会長

それでは、正副議長については変わったので、もし可能であればおいでいただき、ご意見を伺うということにしたいと思います。それから、区長、副区長についてはいかがですか。

委員

昨年度お呼びしましたが都合で来られなかつたですね、区長は。

会長

それでは、可能であれば区長をお呼びすることにしましょう。

今年は審議会の委員が変わったところもあるので、一応、区長、副区長、教育長、常勤監査委員についても、お呼びしましょうか。

総務課長

調整いたします。

会長

それでは、第1回審議会は以上とさせていただきます。どうもありがとうございました。次回の開催は、11月17日（月）ということで、少し間が開きますけれども、その間

に活動状況を聴取する当事者の方々のご予定等の調整や、資料の追加等の点検をしていた
だきたいというふうに思います。

お疲れさまでございました。